

患者さんからのQ&A

回答者 芳澤享子
(口腔再建外科・歯の移植外来)

Q

歯の移植を勧められました但那利点、欠点について教えて下さい。

A

歯の移植は人工物ではなく歯そのものによって咬合機能を回復させる治療法です。一般的に行われている歯の移植は、自分の歯を抜いてすぐに移植する「即時自家移植」という方法です。

歯は歯根の外側に「歯根膜」という組織があるため、移植歯が良好に生着すれば、他の健康な歯と同様の機能を果たし、特に違和感もなく使用できるようになります。このことが歯の移植の最大の利点です。また、骨の中にもぐっていかみ合わせに参加していないような、機能していない歯を別の場所に移植して機能させるなど、限りある歯を有効活用できる点も利点としてあげられます。

しかしながら、歯の移植は「即時自家移植」であるために、健全な移植歯と移植する部位（受容部）が同時に存在しなければならず、そうでない場合は歯の移植の適応にはなりません。また、移植歯や受容部の状態などによっては良好に生着しないこともあり、移植はしてもその後に抜歯をしなければならないときもあります。さらに、移植後しばらくは特に問題なく経過している場合でも、移植後数年経ってから歯根が吸収したり、周囲に炎症が生じたりすることもあります。当院歯の移植外来では年間60～80例の歯の移植を実施し

ており、その生着率は95%を超えています。ただし、そのうち約10%の症例では歯根吸収などの部分的異常も認められ、長期間にわたって定期的に経過観察を行っています。このように歯の移植にはいくつかの欠点があるので、治療に際しては、術前に歯の移植が可能かどうかを十分に検討した上で、正しい手技による手術とその後の処置、および注意深い経過観察を行うことが重要なポイントとなります。

ここで歯の移植外来で行っている治療体系についてご紹介いたします。

術前にエックス線写真、口腔内模型などを十分検討して歯の移植が可能かどうかを検討した後、移植手術を行います。手術は局所麻酔で行います。根完成歯を移植した場合は術後3週目より根の治療を開始します。その後の経過としては、約3ヶ月で根の治療が終了し、約6ヶ月で冠をかぶせるなどの補綴治療が終了します。そしてその後も、可能であれば、年に1～2回定期的に経過観察を行います。

治療費については、親知らずや骨内にもぐっている歯を移植する場合には保険診療となりますが、その他の歯を移植する場合には保険外診療となり、歯の移植手術料金（術中料金）が19,800円、移植後の根の治療・管理および予後判定料金（術後料金）が21,130円です。なお補綴治療の費用はこれらの料金には含まれていないため、保険外診療で補綴治療を行うようになります。